

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
和東町総合保健福祉施設

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q 建築物の環境品質						3.4			
Q1 室内環境						3.5			
1	音環境	3.0	0.15	-	-	3.0			
	1.1 室内騒音レベル	3.0	0.40	-	-				
	1.2 遮音	3.0	0.40	-	-				
	1 開口部遮音性能	3.0	1.00	-	-				
	2 界壁遮音性能	-	-	-	-				
	3 界床遮音性能(軽衝撃源)	-	-	-	-				
	4 界床遮音性能(重衝撃源)	-	-	-	-				
	1.3 吸音	3.0	0.20	-	-				
2	温熱環境	3.4	0.35	-	-	3.4			
	2.1 室温制御	2.7	0.50	-	-				
	1 室温	3.0	0.38	-	-				
	2 外皮性能	2.0	0.25	-	-			断熱性能の高い外壁・屋根を採用	
	3 ゾーン別制御性	3.0	0.38	-	-				
	2.2 湿度制御	3.0	0.20	-	-				
	2.3 空調方式	5.0	0.30	-	-			床次出空調の採用	
3	光・視環境	3.3	0.25	-	-	3.3			
	3.1 昼光利用	3.4	0.30	-	-				
	1 昼光率	3.0	0.60	-	-				
	2 方位別開口	-	-	-	-				
	3 昼光利用設備	4.0	0.40	-	-			ハイサイドライトの採用	
	3.2 グレア対策	3.0	0.11	-	-				
	1 昼光制御	3.0	1.00	-	-			スクリーン、庇を採用	
	3.3 照度	4.0	0.18	-	-			JIS照度基準に基づき計画	
	3.4 照明制御	3.0	0.41	-	-				
4	空気環境	4.2	0.25	-	-	4.2			
	4.1 発生源対策	5.0	0.50	-	-				
	1 化学汚染物質	5.0	1.00	-	-			すべてF☆☆☆☆以上を採用	
	4.2 換気	3.9	0.30	-	-				
	1 換気量	4.0	0.36	-	-			「SHASE-S102-2003換気基準・同解説」を満たすよう配慮	
	2 自然換気性能	5.0	0.28	-	-			開閉可能な窓の積極導入	
	3 取り入れ外気への配慮	3.0	0.36	-	-				
	4.3 運用管理	3.0	0.20	-	-				
	1 CO ₂ の監視	3.0	0.43	-	-				
	2 喫煙の制御	3.0	0.57	-	-				
Q2 サービス性能						3.3			
1	機能性	3.3	0.40	1.0	1.00	3.3			
	1.1 機能性・使いやすさ	3.0	0.40	-	-				
	1 広さ・収納性	3.0	0.07	-	-				
	2 高度情報通信設備対応	3.0	0.07	-	-				
	3 バリアフリー計画	3.0	0.85	-	-				
	1.2 心理性・快適性	4.1	0.30	1.0	1.00				
	1 広さ感・景観	5.0	0.07	-	-			天井を高く設定	
	2 リフレッシュスペース	5.0	0.07	-	-			リフレッシュスペースの確保、自販機コーナーの設置	
	3 内装計画	4.0	0.85	1.0	1.00			地域産材活用、建築化照明、模型やバースの作成	
	1.3 維持管理	3.0	0.30	-	-				
	1 維持管理に配慮した設計	3.0	0.50	-	-				
	2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-				
2	耐用性・信頼性	3.6	0.30	-	-	3.6			
	2.1 耐震・免震・制震・制振	4.0	0.50	-	-				
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	4.0	1.00	-	-			耐震安全性の分類:構造体Ⅱ類で計画	
	2 免震・制震・制振性能	-	-	-	-				
	2.2 部品・部材の耐用年数	3.2	0.30	-	-				
	1 躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-				
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20	-	-			コンクリート、チタン亜鉛合金板、ガルバリウム鋼板	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10	-	-			磁器質タイル、内装薄塗材E、木毛セメント板	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-			亜鉛鉄板	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	4.0	0.20	-	-			水道用PE管、VP管	
	6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-				
	2.4 信頼性	3.6	0.20	-	-				
	1 空調・換気設備	3.0	0.20	-	-				
	2 給排水・衛生設備	5.0	0.20	-	-			節水型機器、災害用系統、汚水ピット、受水槽に蛇口設置	
	3 電気設備	4.0	0.20	-	-			非常用発電設備、防水器具、電源接続用配線	
	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-				
	5 通信・情報設備	3.0	0.20	-	-				

3	対応性・更新性		3.1	0.30	-	-	3.1
	3.1 空間のゆとり		3.4	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高4m以上	5.0	0.22	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	-	3.0	0.78	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.3
1	生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域産材活用、内外にまたがった公共空間の創出	5.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.65	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	太陽光発電の設置	5.0	0.10	-	-	5.0
3	設備システムの高効率化	モデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)	2.6	0.50	-	-	2.6
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1	水資源確保		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水型便器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	木モセメント板 天井、岩綿吸音板 天井、ビニル系皮材 内装床	5.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率44%	4.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1の断熱材使用	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	R410A	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率=89%	3.4	0.33	-	-	3.4
2	地域環境への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	潤沢な駐車場、駐輪場の設置	5.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	風害対策に対する要請が無い	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	日影規制無し	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	用途に応じた照度設定	4.0	0.70	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

和東町総合保健福祉施設

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	3.0	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-
2.4.1 空調・換気設備	3.0	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0	-	-	-	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	5.0	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0	-	2.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	2.0	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	-	1.0	2.0	3.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 昼間照明及び屋内照明のうち月に渡れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能															
窓システムSC 0.7 窓の日射熱取得率(η) 0.6															
U値(W/m2K) 窓システム 3.8 屋根 0.4 外壁 0.6 床 0.8															
住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -															
屋光率 1.5%															
自然換気有効開口面積率 6.7%															
3.1.1 屋光率															
4.2.2 自然換気性能															
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性															
執務スペース 6.0㎡/人 病床 8.0㎡/床 シングル 15.0㎡ ツイン 22.0㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応															
コンセント容量 68.4 VA/㎡															
1.2.1 広さ感・景観															
天井高 3.15 m															
1.2.2 リフレッシュスペース...															
リフレッシュスペース 11.8% レストスペース 2.0%															
2.2.1 躯体材料の耐用年数															
想定耐用年数 65 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔															
想定必要間隔 20 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔															
想定必要間隔 10 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔															
想定必要間隔 15 年															
3.1.1 階高のゆとり															
階高 4.5 m															
3.1.2 空間の形状・自由さ															
壁長さ比率 20.0%															
3.2 荷重のゆとり															
床荷重 3500 N/m2															
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出															
外構緑化指数 21% 建物緑化指数 0%															
3.2 敷地内温熱環境の向上															
空地率 46% 水平投影面積率 12% 地表面対策面積率 16% 舗装面積率 49%															
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制															
BPI/BPIm 0.65 断熱等性能等級 等級2 相当															
2 自然エネルギー利用															
自然エネルギー直接利用量 36.56 MJ/年㎡															
採光を満たす教室数 0.6% 採光を満たす住戸数 0.0%															
通風を満たす教室数 0.6% 通風を満たす住戸数 0.0%															
BPI/BPIm 非住宅 0.87 住宅 - 太陽光 7.5kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
雨水利用率 0.0%															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用															
特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -															
2.5 持続可能な森林から産出された木材															
使用比率 44.0%															
3.2.1 消火剤															
オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 2090															
3.2.3 冷媒															
オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 2090															
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善															
見付面積比 44% 隣棟間隔指標Rw 4.48															
地表面対策面積率 25.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
見付面積Sb 680㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 60 m 基準高さHb 25.7 m															
緑地 478㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															